

(対象期間：2021/4/5～2021/4/9)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2021年4月9日)

【株式市場】

今週のインドネシア株式市場は底堅い動きとなりました。週初は大手建設会社の訴訟問題を受けて建設株を中心に大幅に下落しました。一方、ニッケル関連株はニッケル精錬所建設のプロジェクトファイナンスの報道を受けて大幅上昇となりました。週半ばにはジョコ大統領が第2四半期のGDP成長率が前年同期比7%に回復する見通しと述べたことが好感され、インドネシア株式市場は上昇しました。また、政府のワクチン接種プログラム強化の発表も好感され、週末にかけて堅調となり、前週末比でも上昇しました。

2021/4/1	2021/4/9	変化率
6,011.46	6,070.21	+0.98%

※2日は祝日のため休場

【債券市場】インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年4月9日)

【債券市場】

週初から外国人投資家からの資金流入を背景にインドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）傾向となりました。6日のイスラム国債入札の応札額は前回は下回り低調となりましたが、市場への影響は限定的でした。週半ば以降も外国人投資家からの資金流入を受けて利回りは低下しました。7日、ジョコ大統領がインドネシア中央銀行（BI）の責務に景気支援を追加すると表明し中央銀行の独立性が懸念されましたが、債券市場への影響は限定的でした。10年国債利回りは前週末比低下となりました。

2021/4/1	2021/4/9	変化幅
6.692	6.460	-0.232

※2日は祝日のため休場

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年4月9日)

【為替市場】

ルピアは前週末比対米ドル、対円ともに下落しました。週初は債券市場への資金流入や米国債利回りの上昇の一服感を受けて堅調となりました。しかし、ジョコ大統領がBIの責務に景気支援を追加すると表明したことから、中央銀行の独立性が再び懸念され、下落に転じ週末にかけて下落しました。

2021/4/2	2021/4/9	変化率
0.7612	0.7517	-1.25%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ